

事業報告

平成 28 年 4 月 1 日より平成 29 年 3 月 31 日までの事業概略をご報告申し上げます。

当協会の概況

平成 28 年度の当協会の主な事業として、育英事業、展覧会事業、パブリックアートの普及事業、国際交流事業などを推進して参りました。

育英事業として「瀧富士基金」奨学生及び「国際瀧富士美術賞」奨学生に奨学金の給費及び貸与を行いました。また展覧会事業として「交通総合文化展 2016」を開催しました。

また、パブリックアート普及事業においては、昨年 4 月から今年 3 月までの 1 年間に秋田空港、湯河原駅前広場、大分空港など計 8 カ所にステンドグラスや陶板レリーフの作品を設置しました。

当期の特記事項

本年度は、平成 29 年 3 月に福岡県飯塚市の新庁舎に野見山暁治先生の原画によるステンドグラス作品や、大分空港に故福田平八郎先生の作品を基にした陶板レリーフ作品が設置され、計 522 作品目となりました。

本年も一般財団法人日本宝くじ協会にパブリックアートの普及事業の助成申請をいたしましたところ 86,400 千円の助成が認められ、パブリックアート 2 作品を設置致しました。

活動状況

本年度の主な活動内容を項目ごとにご説明申し上げます。

I. 公益事業

1. 育英事業

(1) 瀧富士基金

「瀧富士基金」第 50 期生奨学生の募集をいたしましたところ、本年は 48 名の応募がありました。選考委員会を 8 月 22 日（月）に開き、厳正な審査の結果、38 名の奨学生が新たに決まりました。また、奨学生のうち特に成績優秀な学生の中から、奨学金の全額、または一部の返還を免除する給費生 11 名を選びました。また奨学金が増額される特待生を 10 名選考しました。

(2) 国際瀧富士美術賞

「国際瀧富士美術賞」第37期奨学生の第一次審査会を7月21日(木)に、第二次審査会を9月14日(水)に開き、厳正な審査の結果、国内13美大14名、海外6カ国7美大7名の計21名の受賞者を選びました。授賞式は11月9日(水)午後5時から「八芳園」(東京・港区)の「白鳳館」で行われました。また今回から、これまでの国内の最優秀者を対象としたグランプリ(滝理事長賞)に加え、海外の最優秀者を対象とした国際グランプリを設け、グランプリには東京藝大の上田華奈さん、国際グランプリにはパリ国立高等美術学校のルイ・デボルドさんが受賞しました。授賞式に引続き懇親会を開催し、国際瀧富士美術賞を受賞した国内外の学生、指導教員、大学関係者を招待し、文化・芸術交流を図りました。

2. 展覧会事業

(1) 交通総合文化展

第63回となる「交通総合文化展 2016」を「10月14日 鉄道の日」の関連事業として、10月16日(日)～21日(金)の6日間、JR上野駅の中央改札口外グランドコンコースの特設会場で開催しました。本年度も「写真」(新日本観光写真展)、「俳句」の2部門のほか、パブリックアート普及特別展、また日本画、洋画、書の大家、中堅作家の新作展「溯瀧会」には、日本画家の鈴木竹柏先生(文化功労者)、洋画家の野見山暁治先生(文化勲章)、書家の高木聖鶴先生(文化勲章)など有名作家の作品28点を展示しました。さらに今回から招待作家のコーナーを設け、アートディレクターの八鳥治久氏にパブリックアート作品を造っていただきました。会期中、外国人を含め多くの方がご覧になり、盛況の内に終了しました。

(2) 「原宿ファッションジョイボード文化展」

JR原宿駅の大型看板17面を使った「原宿ファッションジョイボード文化展」では、「IT社会を守る、育てる、“頼れるIT社会”の実現を目指して」キャンペーンを前年度に引き続き開催しました。

3. パブリックアート普及・振興事業

当協会は長年にわたってパブリックアート作品の制作、並びに普及活動を行ってきました。本年度は、秋田空港に漫画家の矢口高雄先生の原画による陶板レリーフ「釣りキチ三平・山魚女群泳」を、大分空港に故福田平八郎先生の作品を基にした陶板レリーフ「福田平八郎賛歌『青柿』響きあう色と形」を設置し、これで計522作品目となりました。

(1) パブリックアートの設置

本年度は8カ所のパブリックアートの設置に、当協会はかかわりました。豊島区池袋本町小中連携校（ステンドグラス）をはじめ、秋田空港（陶板レリーフ）、湯河原駅前広場（陶板レリーフ）、飯塚市新庁舎（ステンドグラス）などです。

また一般財団法人日本宝くじ協会に「平成28年度パブリックアート普及事業」を申請しましたところ、助成が認められ、次の2カ所に作品を制作・設置しました。助成額は86,400千円です。

① 陶板レリーフ「釣りキチ三平・山女魚群泳」

設置場所：秋田空港ターミナルビル2階

設置日：平成28年10月2日

寄贈先：秋田空港ターミナルビル株式会社に無償譲渡

委託契約費：44,064千円

② 陶板レリーフ「福田平八郎賛歌『青柿』 響きあう色と形」

設置場所：大分空港ターミナルビル2階

設置日：平成29年3月5日

寄贈先：大分航空ターミナル株式会社へ無償譲渡

委託契約費：42,336千円

(2) 「1%フォー・アーツ」法制化に向けての活動

パブリックアート普及・振興の一環として、「1%フォー・アーツ」の法制化実現に向けて、各界識者約70名の賛同をいただき、当協会のホームページにアップしました。また「1%フォー・アーツをどう実現するか」をテーマに協会顧問である宮田亮平・文化庁長官、ノーベル化学賞受賞者の野依良治先生を含めた座談会を滝理事長の司会で開催しました。今後の活動に向けて多くの示唆をいただきました。

4. 日本の文化、芸術の普及を兼ねた国際交流促進事業

(1) 「国際瀧富士美術賞」の内外受賞者、教官の交流

国際瀧富士美術賞を受賞して来日した外国の受賞者7名と指導教官6名が、日本人の受賞者・指導教官15名とクレアーレ熱海ゆがわら工房を訪問し、パブリックアート制作現場を見学すると共に、一緒にワークショップに取り組むなど交流を図りました。

(2) 新日本観光写真展での PR

全国から公募した写真を交通総合文化展において展示し、訪日外国人の方々に日本の文化、風俗、景勝地を紹介しました。外国人観光客の方からも多くの質問や感想をいただきました。

(3) 国際アマチュア・ペア碁選手権大会での日本紹介

2016年12月3日(土)、4日(日)の両日、第27回国際アマチュア・ペア碁選手権大会が、世界21ヵ国・地域の32組64名が参加してホテルメトロポリタンエドモント(東京・飯田橋)で開催されました。当協会は日本の文化・芸術を紹介する写真パネルを会場に展示し、外国から参加された方に、日本の文化・芸術を紹介しました。

5. その他

芸術アカデミー構想検討委員会

本年度も「クレアーレ熱海ゆがわら工房」の将来構想について引き続き検討を重ねました。「クレアーレ・アート館」の改修を行い、静岡県川勝平太知事をはじめとし、東京藝大、東京工大、お茶の水女子大の各学長に見学していただき、その活用について参考となるさまざまなご提言、アイデアを頂戴しました。外国人留学生やアーティストの受け入れなど、今後を活かしていきたいと思っています。

II.収益事業

1. 環境芸術にかかわる各種コンサルティング事業

陶板レリーフ、ステンドグラス、あるいは立体作品を駅等の公共スペースに設置するパブリックアート作品の制作に対して、各種のコンサルティングを行い、収入を得ました。

2. 不動産賃貸業

当財団が保有している工房等(クレアーレ熱海ゆがわら工房、信楽工房など)の施設を賃貸し、収入を得ました。

以上